

十島村教育委員会だより 令和3年10月号

せわやがトカラ情報

南北160km

「心をつなぎ 気概に満ちた」十島の教育

十島村教育委員会
〒892-0822
鹿児島市泉町13番13号
TEL 099-227-9771



県民週間横断幕：フェリーとしま2

【今月の十島パワートリプル】運動会・体育大会 コロナ対策も万全

シリーズ・・・十島村で学ぶ

10月・・・地区研究協力校の授業公開

十島村教育長 有村 孝一

この度、鹿児島県教育事務所の研究指定ということ、9月30日に平島小中学校、10月15日に悪石島小中学校が、テレビ会議システムを活用して授業を公開し研究を発表しました。

これまで十島村の学校は、鹿児島県教育事務所の学校訪問のあった年から、地区の研究指定校と定めていました。その研究の発表は、年度末に出される鹿児島地区教育論文をまとめた論文集「波動」で紙上発表することとしておりました。この紙上発表を進展させて「授業公開」として発表しようということで、今年度から始まりました。先生方がせっかく素晴らしい研究をしているのに、授業を通して公開できないものかと以前から考えてきていました。折しも、今年度の全国学力・学習状況調査において、本村の受検者は、小学校12名・中学校18名と極少数ながら、平均通過率を全国平均と比較してみると、小学校・中学校とも国語も算数・数学も全国平均をかなり上回り、全国トップの都道府県と同等、あるいはそれ以上の成績を上げています。

これも先生方のご指導の賜物と深く感謝するとともに、この先生方の努力を公開して十島村の授業の様子を見ていただきたいと思いました。

また、村外の先生方には役場にきていただき、テレビ会議システムを通して参加してもらおうと考えました。そのことにより、十島村の教育に関心を寄せていただく先生方が増えると有難いと思っています。残念ながら、平島小中学校の時は、コロナウイルス感染症に伴うまん延防止等重点措置の関係で、役場での参加はありませんでした。悪石島小中学校の時は、村外の先生方にも役場で参加していただきました。

ところでここ数年、村内の各学校では、テレビ会議システムの活用頻度が年々増加しています。また、一昨年あたりから、中学校の学力向上プログラムにおける研究授業において、テレビ会議システムを活用して、村内の学校に授業を公開する学校が増えて参りました。これらの機会を通して、学校を越えたお互いの授業力向上や教科に関する情報の共有化について、テレビ会議システムを活用した研究授業への参加が果たす役割は、極めて大きいことが明らかになりました。このことは、テレビ会議システム活用の大きな成果だと考えています。

今年度は平島小・中学校と悪石島小・中学校が研究指定を受け、研究を進めてきました。

平島小・中学校では研究テーマを「主体的・対話的に学び、深めた思考を表現できる児童生徒の育成」とし、サブテーマを「個に応じた指導と自他を認め合う指導の充実」ととらえて、研究を進めてきました。授業公開は「総合的な学習の時間」でした。



悪石島小・中学校は、研究テーマを「主体的に学びを深めることのできる学習指導法の改善」とし、サブテーマを「～思考力・判断力・表現力を高めるための課題設定や発問等の工夫を通して～」ととらえて、研究を進めてきました。授業公開は、生徒1人に対して、担当教員とALTの2人で指導する極少数人数での英語の授業でした。



7島に一人一人配置したALTの授業公開も初めてでした。両校とも大変素晴らしい公開をしていただきました。おいでいただきました鹿児島県教育事務所の皆さんにも高評価をいただきました。このような地道な努力が、子どもたちの学力向上へとつながっていくことと信じます。これからの大変楽しみです。

地域が育む「かごしまの教育」県民週間

(令和3年11月1日～11月7日)

口之島小・中学校

11月4日 給食試食会 11月12日 地域花植え

中之島小・中学校

11月1日～6日 学校参観日 11月6日 校区文化祭

諏訪瀬島小・中学校

10月30日 文化祭 11月5日 給食フェスタ

平島小・中学校

11月1日授業参観(道徳) 11月7日 学習発表会

悪石島小・中学校

11月6日 学習発表会 11月11日 秋の収穫祭

小宝島小・中学校

10月24日 文化祭 11月1日～7日 学校開放週間

宝島小・中学校

11月8日 宝の夢文化祭 11月18日～19日 黒糖ビーナッツづくり

行事の内容や詳細については、各校教頭先生へお問い合わせください。

おめでとうございます。

【地域が育む「かごしまの教育」県民週間 標語・ポスター原画コンクール】

【ポスター原画】

【優秀賞】

諏訪瀬島小4年辻 幸奈さん

【入選】

諏訪瀬島小3年濱田幸奈さん

諏訪瀬島小6年濱田千明さん

【標語】

【入選】

諏訪瀬島小3年濱田幸奈さん

小宝島小5年岩下捷人さん



【口之島小・中学校】



○「今年も感染症対策で、島民の方々の参加ができませんでしたが、子どもたちは、一生懸命に演技してくれました。保護者の方々にも協力をいただきました。また、タモトユリの会の皆様からも応援旗をいただき、「感動」「感謝」「感激」の運動会でした。」(学校長 大園 和浩)

【中之島小・中学校】



○「コロナ禍でしたので、午前中の運動会実施となりました。地域の方にも来ていただき、いろんな場面で、みなさんに愛されている学校だなと思いました。子どもたちも、日頃の成果を発揮できて、感動的でした。」(教頭 児玉 徹)

【コロナウイルス感染予防対策のために、今年も規模を縮小しました。】

さらに、運動会実施のために、ロードスイーパーで校庭の灰を取り除いていただきました。久しぶりに土が見えると『校庭』だとみんなで喜びました。(学校長 大庭 美紀)

【諏訪瀬島小・中学校】



【平島小・中学校】

○最初は、「えんぶ」も分からず、当日も少し間違えてしまいましたが、最後「白花」が満開でよかったです。(小学5年 鈴木千洋)
○歌を歌えなかったけれど、一番楽しい運動会でした。来年もゆうしょうしたいです。(小3年 奥田 悠)

【平島小・中学校】



【悪石島小・中学校】

○「感染対策をしながら、実施しました。今まで、中学校の体育大会だけだったので、地域の方々と合同での運動会は初めてでした。子どもたちも、早くから応援や競技の練習を始めていました。充実した楽しい運動会になりました。」(教頭 芝原 寛)

【悪石島小・中学校】



【小宝島小・中学校】



○運動会の時期になると、一輪車の演技の練習が始まります。一人が転んだら、いっせいに転んでしまうので、たくさん練習をしました。本番では、きんちょうのせいか転んでしまいました。一輪車のうでをあげたいと思いました。(小学4年 東佑弦)

【宝島小・中学校】



○「宝島での最初の運動会でした。台風の影響も心配されましたが、天候に恵まれて実施することができました。フェリーの到着がずれましたが、前もってプログラムの順番を変更したこともあり、スムーズな楽しい運動会を実施することができました。」(学校長 下村 尚)

【平島で学ぶ】「平島秋季大運動会を終えて」 平島中学校3年 奥田 和

家族と平島に来て3年目になりました。平島はとても小さな島で、人口はたったの60人位と聞いた時は、衝撃を受け不安になりました。しかし、そんな不安もいつの間にかなくなり、今では楽しい平島生活を過ごしています。5名の同級生との学校生活はとても楽しく、充実した毎日です。平島にはたくさんの学校行事や地域行事がありますが、私が一番好きなのは、平島秋季大運動会です。

二学期が始まるとすぐに運動会の練習が始まりました。私は、白組中学生団長を務めさせてもらいました。もともと団長をする予定はなかったのですが、半分くらいの人に推薦してもらい、団長になる覚悟が決まりました。期待に応えられるのか、団員をうまくまとめられるのか、いろんな不安とプレッシャーが押し寄せ、最初は、そんな気持ちに押し潰されてしまっていました。ですが、団は日に日にまとまっていきました。本番を前に一致団結した姿を見たときには、団長をやってよかったと心から思いました。結果は、応援の部は惜しくも2点差で負けてしまいましたが、競技の部は優勝。優勝旗を受け取ることができました。つかみ取った優勝旗は、白組全員の頑張りの結晶だと思います。この経験を生かし、次は、将来の夢をつかみ取ることが目標です。



【小宝島小・中学校からのメッセージ】 教諭 児玉 雄一郎

昨年小宝島に赴任してきました。島での生活が初めてだった私は、不安を抱えながらこの島にやってきました。初めて小宝島にやってきた日、児童生徒や教職員、そして島民の方々の温かい出迎えを受けました。そしてその日に行われた荷入れでは、多くの地域の方々の協力を得ることができました。その荷入れの作業中も、温かい言葉をかけて頂き、生活の不安が消えていったのを感じています。島での生活で分からないことがあれば、地域の方は快く相談ののってくださいました。今でもそうです。地域の方と様々な場面で話をさせて頂くことがありますが、その中で感じるのは地域の方々の人柄の良さです。仕事への責任感や人としての優しさや気配りといったものに触れる度に、自分自身の在り方について考えさせられます。地域の方々の姿は、もともとたたれているよい気質に加え、自然を身近に感じることができる環境がそうさせているのではないかと考えています。人と自然が素晴らしいこの小宝島の環境で、これまで培ってきた自分の力を生かし、よりよい教育活動を行っていきたくと思っています。



『教職員仲間であるあなた』への 私からのメッセージ

TV 会議システムを通して見る各島の児童生徒の姿から、多くの刺激を受け、自分も成長できています。今後この TV 会議システムに加え、現在活用しているタブレットも生かしながら、さらに先生方の実践に学ばせて頂きたいと思っています。よろしくお願ひいたします。